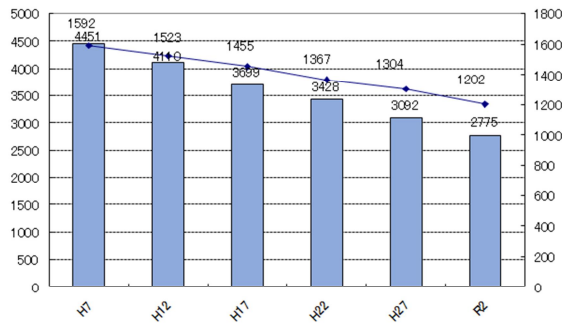


第3章 置戸町の健康を取り巻く状況

1. 保健統計からみた健康の状況

図表1 人口・世帯数の推移

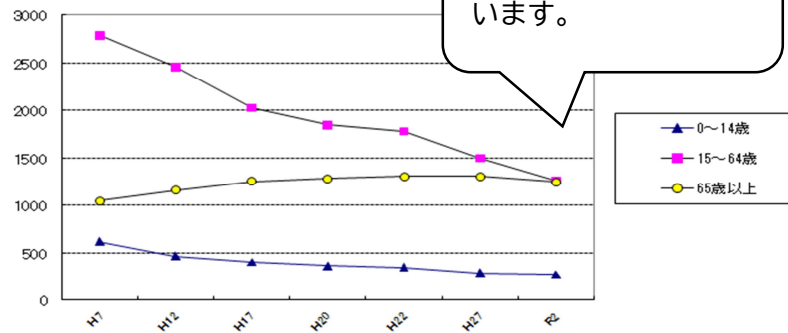


世帯

人口・世帯数ともに減少しています。

■人口 ◆世帯数

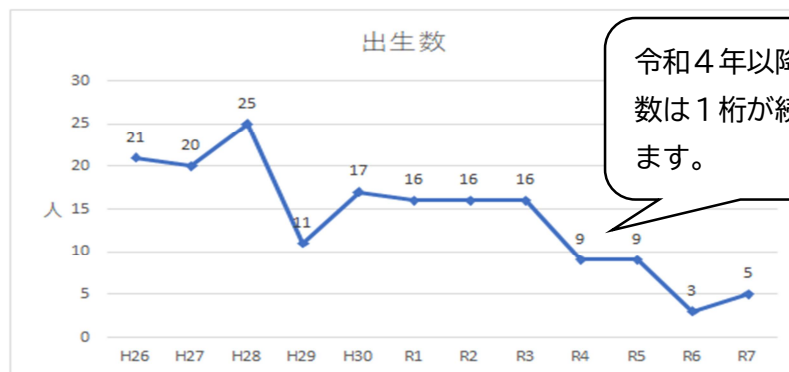
図表2 年齢人口の推移



生産年齢人口が減っています。

国勢調査

図表3 出生数の推移



令和4年以降、出生数は1桁が続いています。

国勢調査

置戸町保健統計

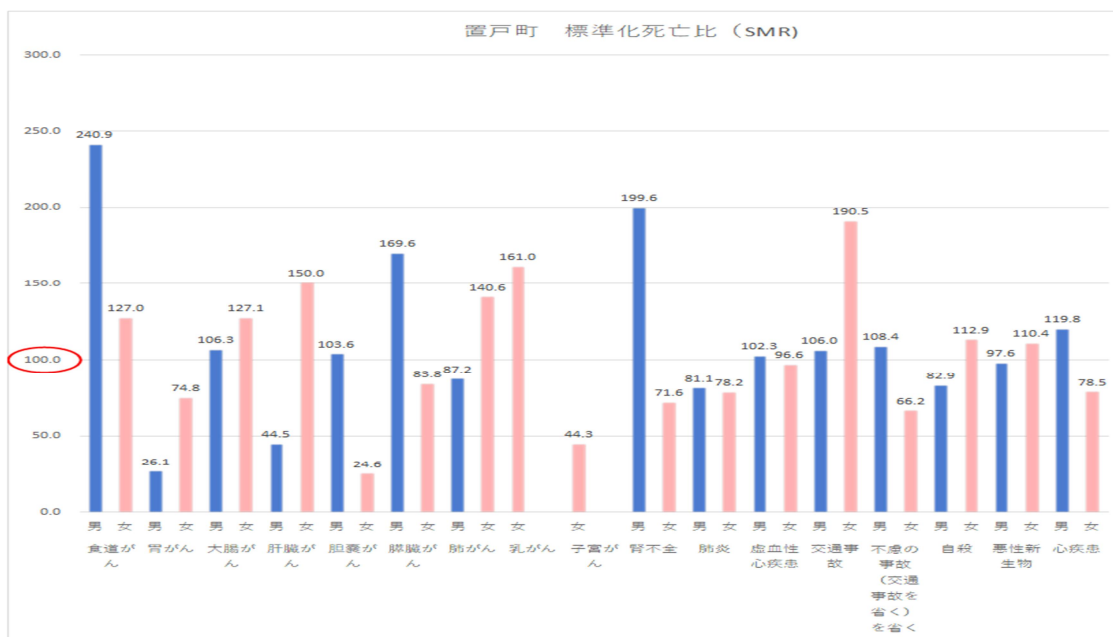
図表4 置戸町の主な死因について

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
感染症及び寄生虫症	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	6
悪性新生物	8	12	18	14	13	11	17	18	9	12	
糖尿病	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
心疾患	7	8	8	5	10	15	8	7	12	5	
脳血管疾患	2	5	5	4	7	3	2	3	2	2	
その他の循環器疾患	0	2	1	1	0	0	1	1	0	3	
呼吸器疾患	19	7	9	10	15	6	8	10	4	2	
消化器疾患	0	0	2	4	1	1	0	3	0	2	
腎不全	5	0	3	2	5	2	4	1	2	1	
老衰	9	4	7	8	6	11	8	19	17	14	
不慮の事故	0	0	4	1	0	0	2	1	0	1	
自殺	4	1	0	0	0	0	0	0	1	2	
その他	0	5	4	3	5	6	1	0	0	3	
不明	5	2	2	5	2	3	6	7	5	7	
計	59	46	64	57	64	58	57	72	59	60	

令和2～6年では、不明を省き、
1位 老衰 2位 悪性新生物（がん） 3位 心疾患
となっています。

置戸町保健統計

図表5 置戸町 標準化死亡比（SMR）



男性の食道がん、腎不全のSMRが高くなっています。

※SMRとは※
特定の集団（置戸町）の死亡率を基準の集団（全国）と比較するための指標です。100よりも大きければ、全国の死亡率よりも高いと判断されます。

北海道における主要死因の概要 11

図表6 平均寿命

	置戸町	全道	全国
男	80.1	80.3	81.1
女	86.3	86.4	87.1

国保データベース (KDB)

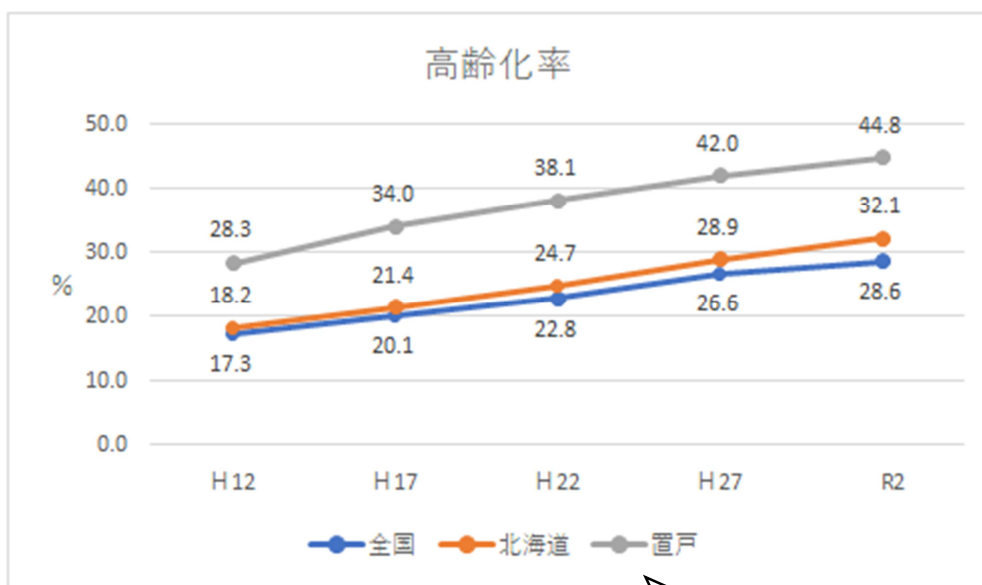
図表7 健康寿命

	置戸町	全道	全国
男	78.9	79	79.7
女	84.2	83.6	84.0

置戸町の平均寿命、健康寿命は、全国、全道とほぼ同じです。

国保データベース (KDB)

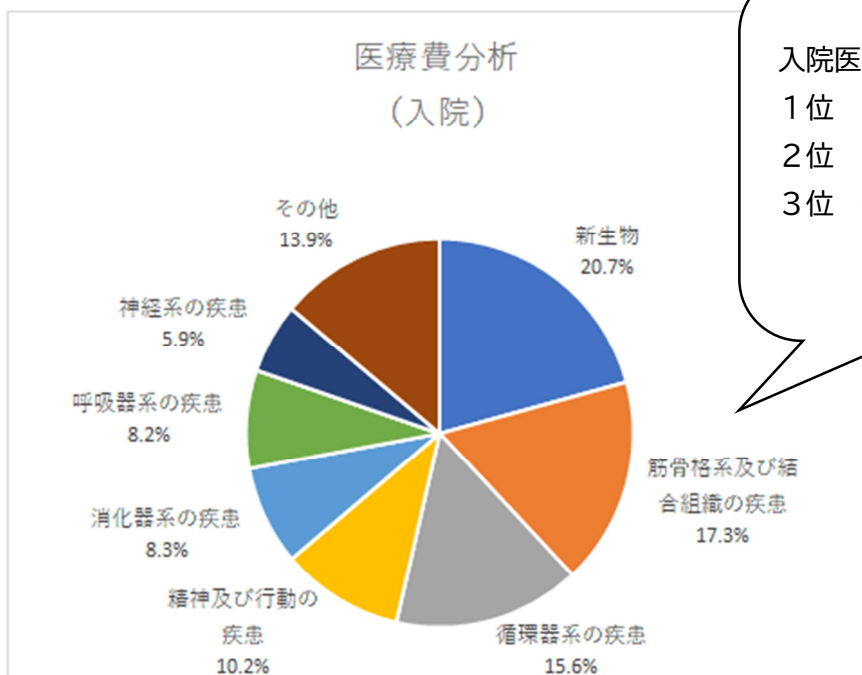
図表8 高齢化率



国勢調査

置戸町の高齢化率は高く、全国・全道を上回っています。
 今後は後期高齢者が増加していく見込みです。

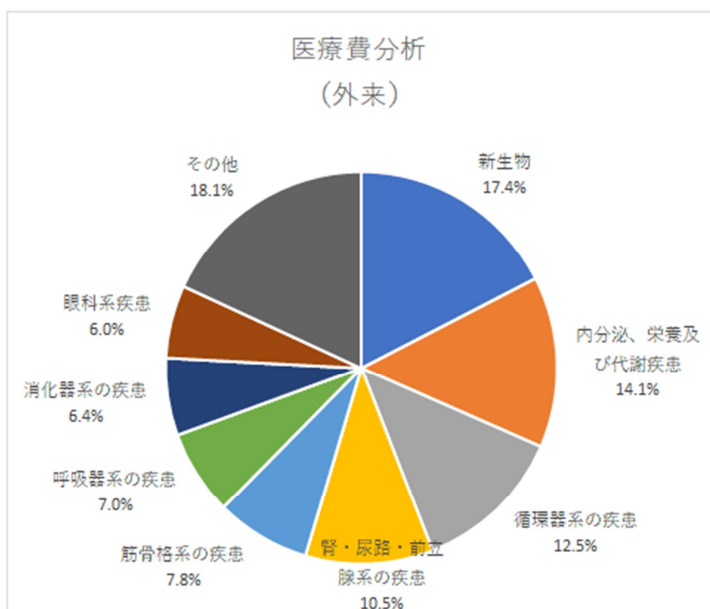
図表9 医療費分析（入院）



入院医療費は
 1位 新生物
 2位 筋骨格系の疾患
 3位 循環器系の疾患
 となっています。

国保データベース（KDB）

図表10 医療費分析（外来）

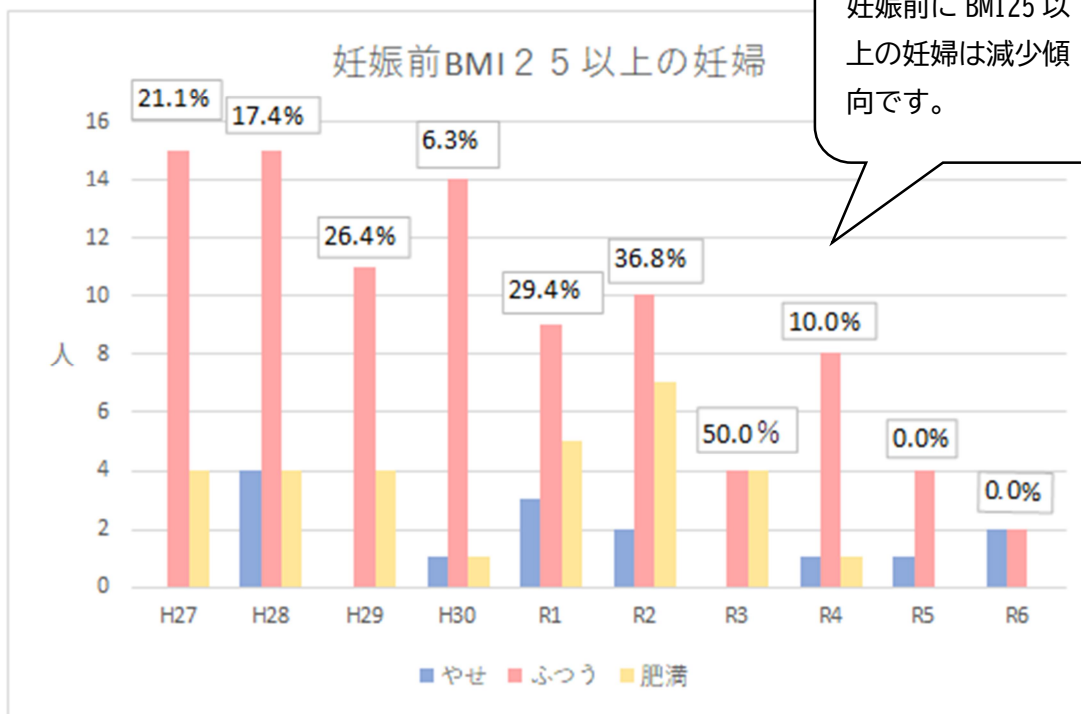


外来医療費は
 1位 新生物
 2位 内分泌・代謝疾患
 3位 循環器系の疾患
 となっています。

国保データベース（KDB）

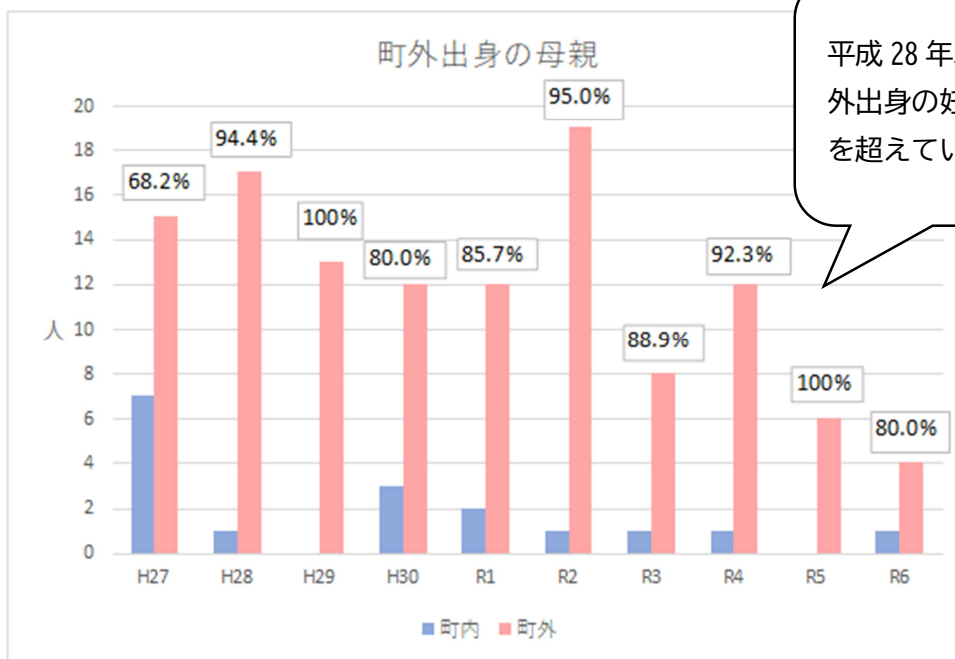
【妊娠届出時アンケート】

図表 11 妊娠前 BMI25 以上の妊婦



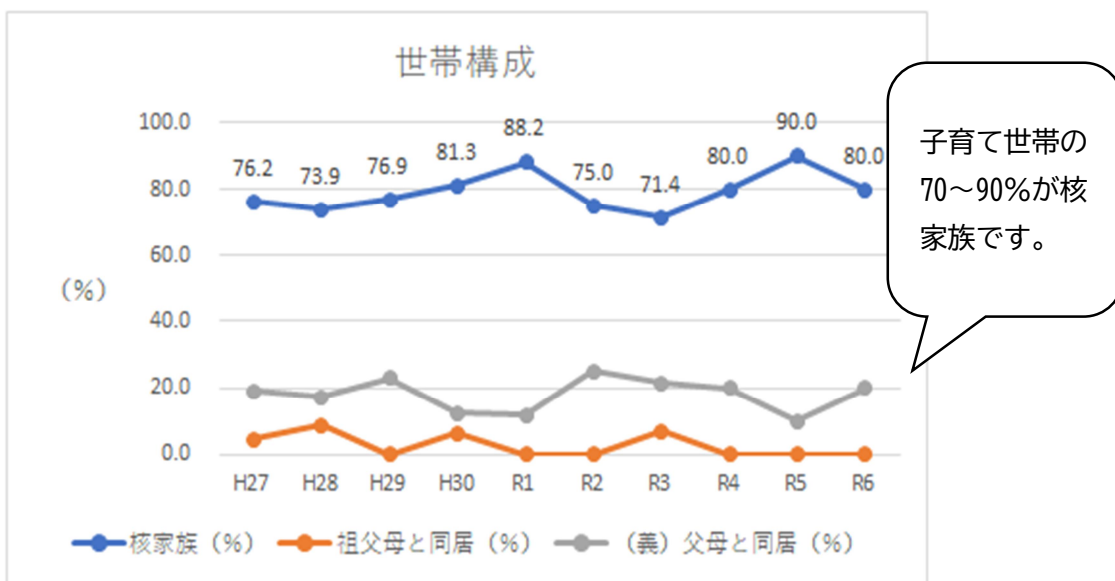
妊娠前に BMI25 以上の妊婦は減少傾向です。

図表 12 母親の出身地



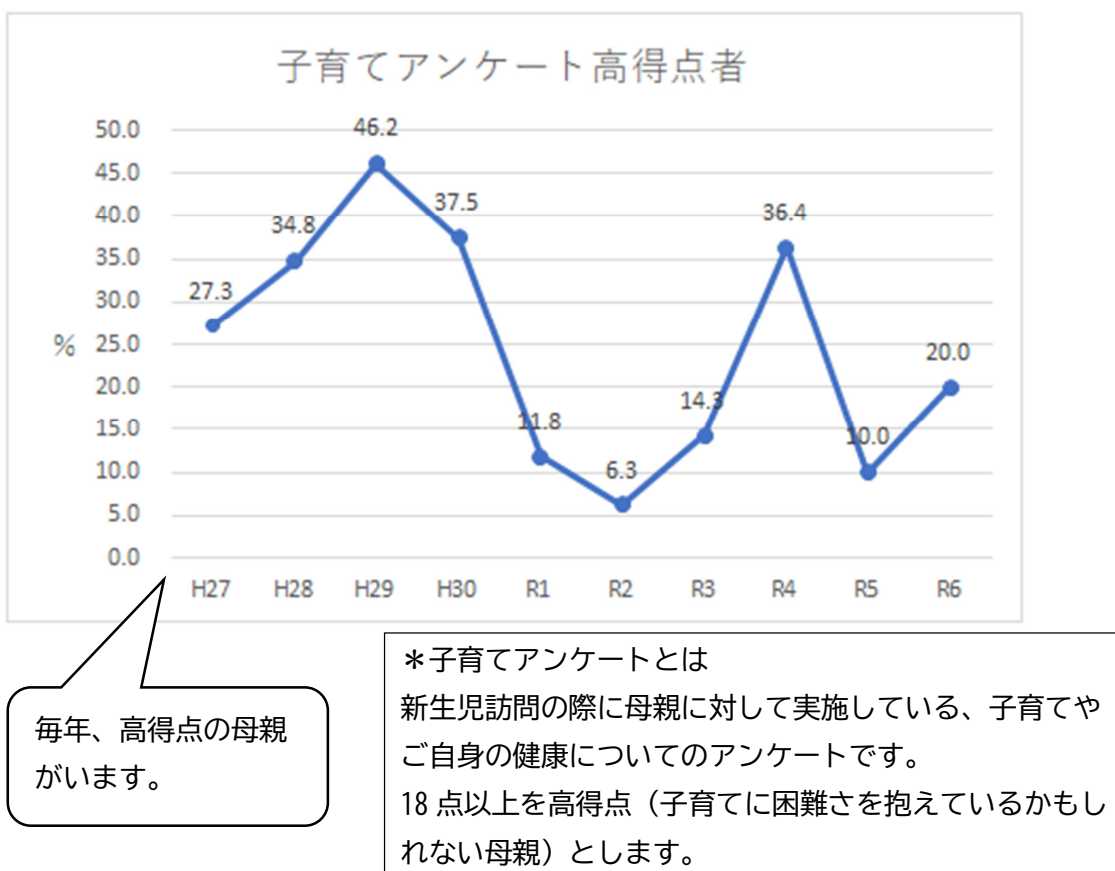
平成 28 年以降、町外出身の妊婦が 80% を超えています。

図表 13 家族形態

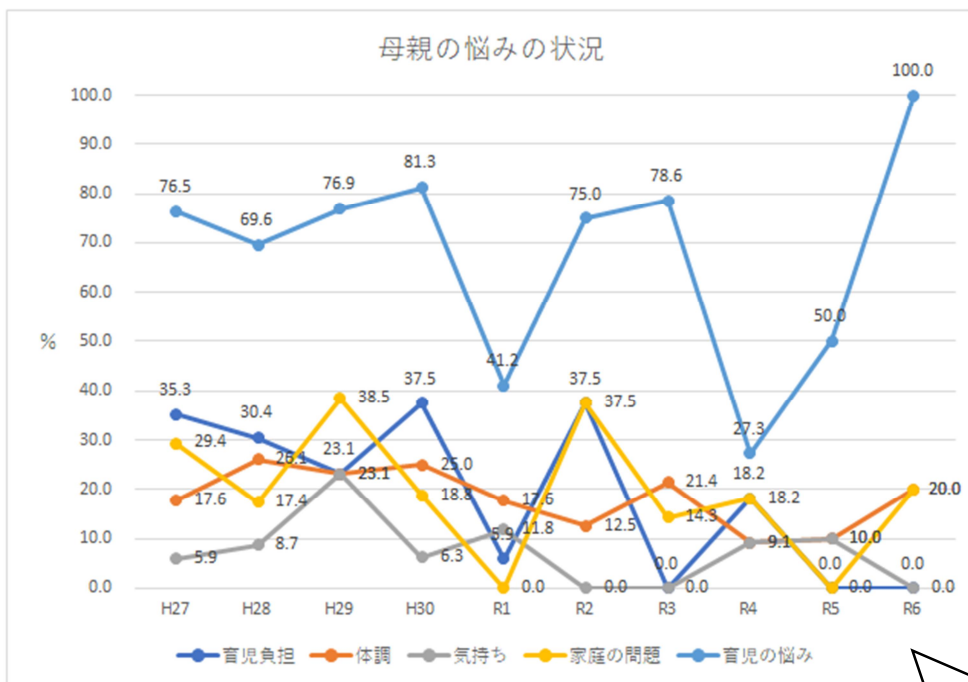


【子育てアンケート結果】

図表 14 高得点者の割合



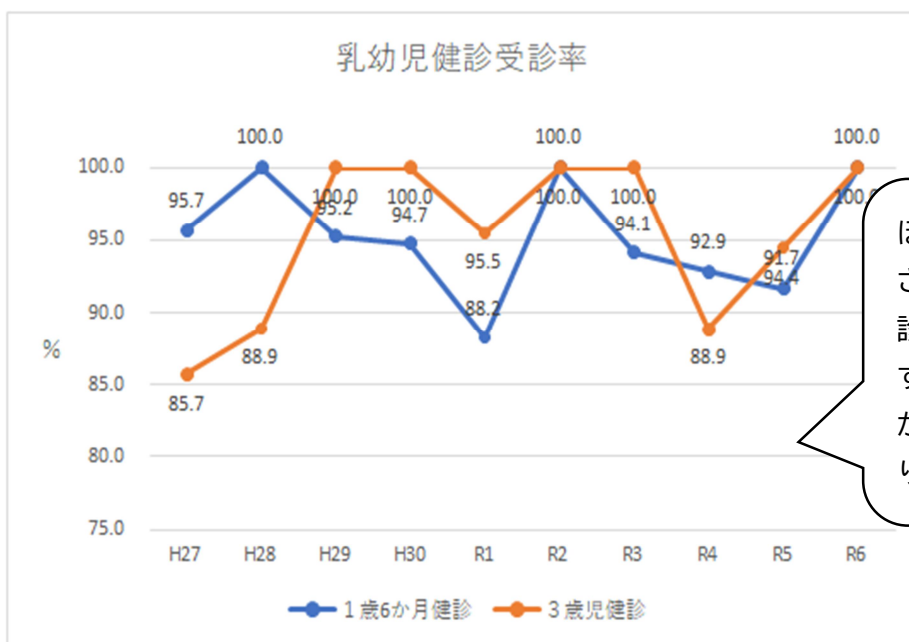
図表 15 母親の悩みの状況



育児の悩み、特に、上の子への接し方や養育技術についての悩みを持つ方が多いようでした。

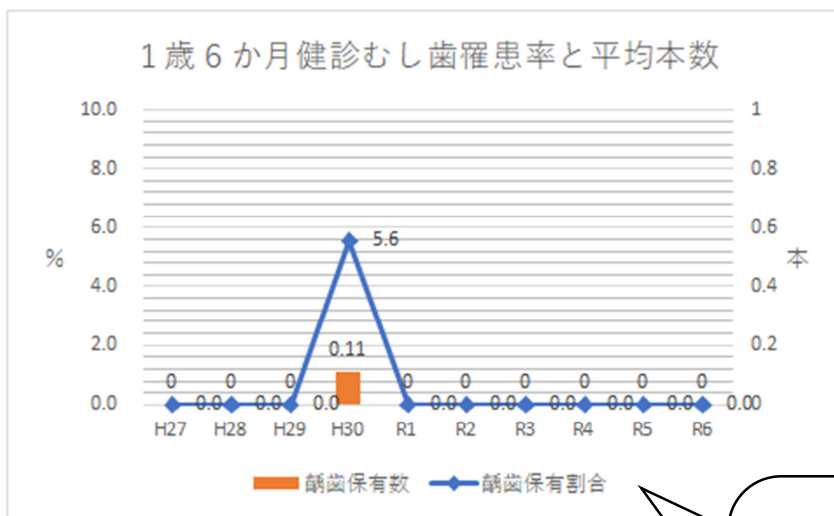
【乳幼児健康診査】

図表 16 1歳6か月児・3歳児健診受診率



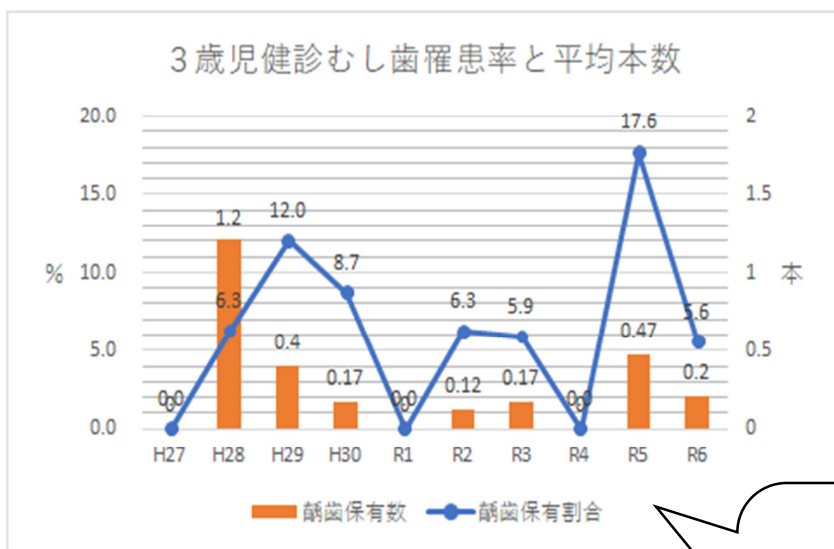
ほとんどのお子さんが乳幼児健診を受けていますが、未受診者がいる年度もあります。

図表 17 1歳6か月児健診における、むし歯のある児の割合と平均本数



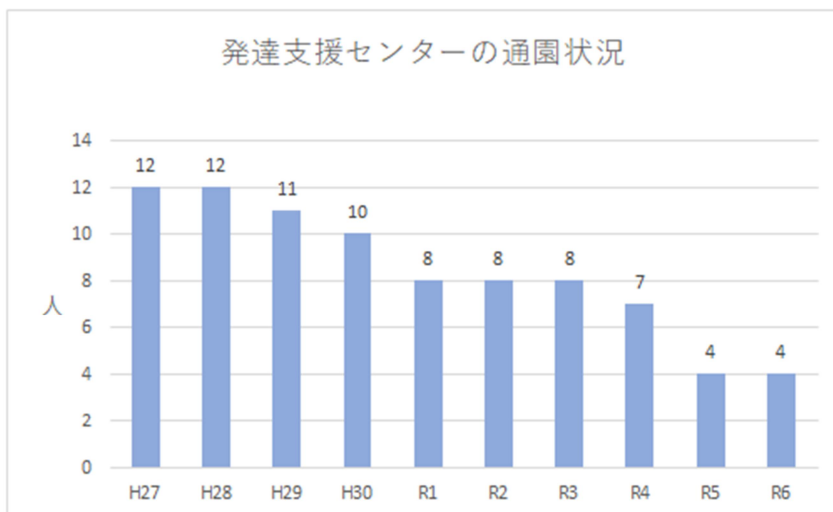
1歳6か月健診でむし歯が見つかったお子さんは、令和元年から0人です。

図表 18 3歳児健診における、むし歯のある児の割合と平均本数



少数のお子さんが、複数本のむし歯を有していました。

図表 19 発達支援センターの通園状況



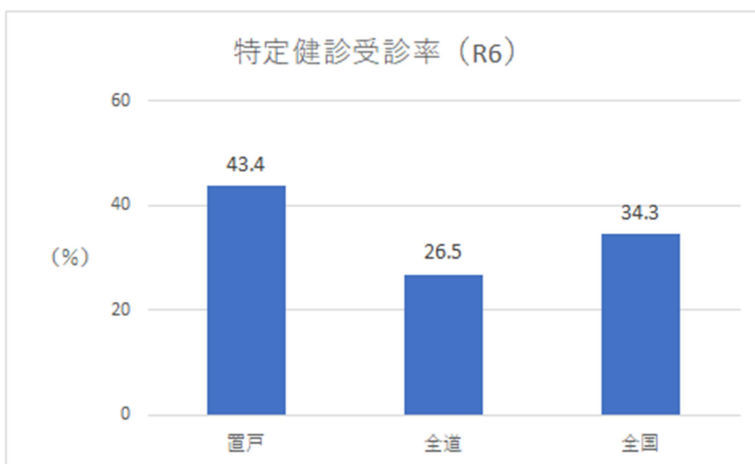
図表 20 発達支援センターの通所理由

きりり通所理由		人数
R2	言葉	1
	社会性	2
	情緒	1
	発達	0
R3	言葉	1
	社会性	0
	情緒	1
	発達	1
R4	言葉	2
	社会性	0
	情緒	0
	発達	2
R5	言葉	1
	社会性	2
	情緒	0
	発達	1
R6	言葉	1
	社会性	0
	情緒	0
	発達	1
R7	言葉	2
	社会性	1
	情緒	1
	発達	0

希望者がいても、発達支援センターの受け入れ状況に応じて、通園できる人数が変わります。

【特定健診】

図表 21 特定健診受診率



H27年調査時から大きな増減はありません。全国・全道と比べて高めです。

国保データベース (KDB)

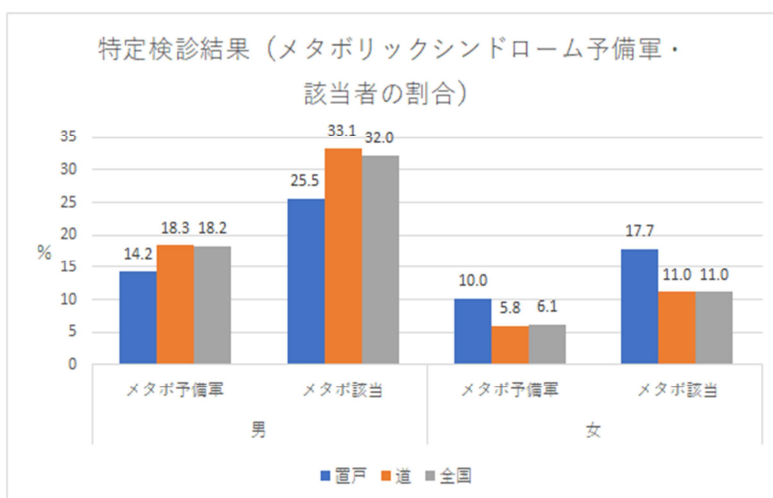
図表 22 特定健診有所見 ※ () 内は道内順位

	置戸	全道	全国
			(%)
腹囲	38.3 (66)	34.7	35.4
BMI	10.4 (16)	5.8	4.4
血糖	2.3 (4)	0.5	0.6
血圧	6.8 (137)	7.8	8
脂質	3.6 (31)	2.6	2.8

血糖、脂質に課題を抱える方が多く、両方の所見を有する方の割合は、北海道で最も高くなっています。

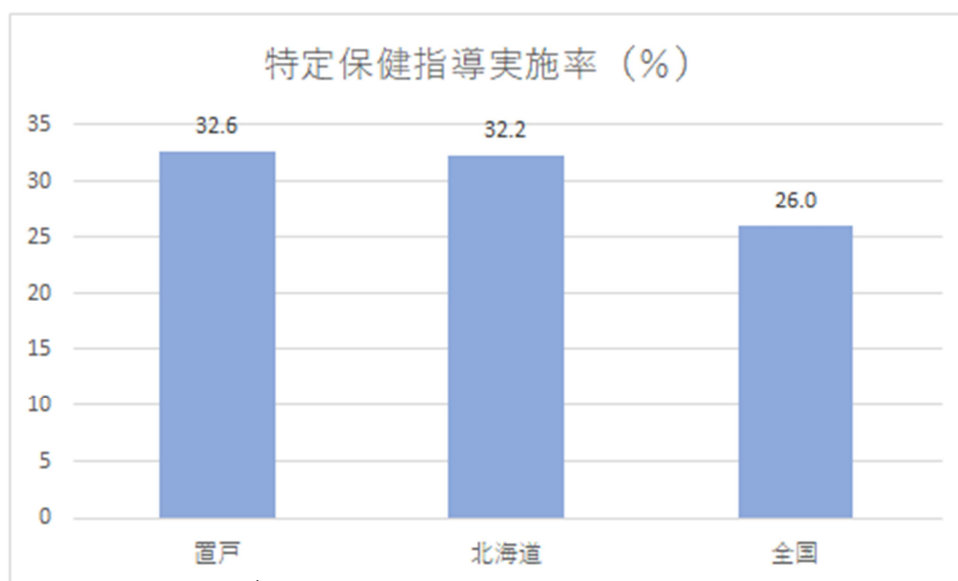
国保データベース (KDB)

図表 23 特定健診結果 (メタボリックシンドローム予備軍・該当者の割合)



女性のメタボリックシンドローム予備軍の割合が、全国・全道に比べて高くなっています。

図表 24 特定保健指導実施率 (R6)



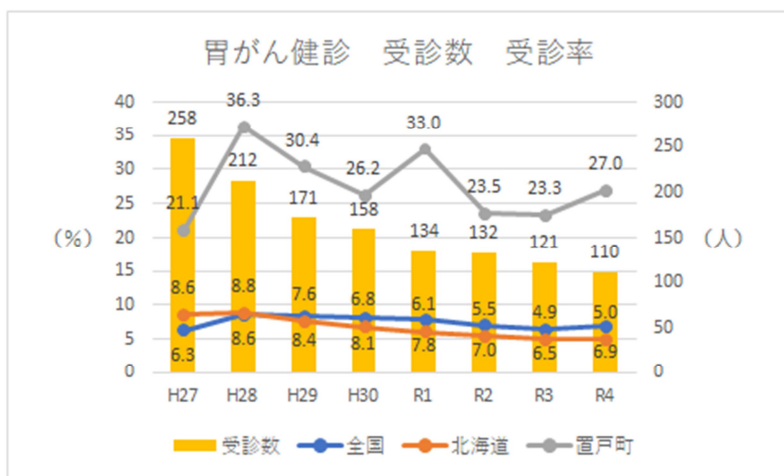
特定保健指導の実施率は、全国と比べてやや高め、全道の平均と同程度です。

国保データベース (KDB)

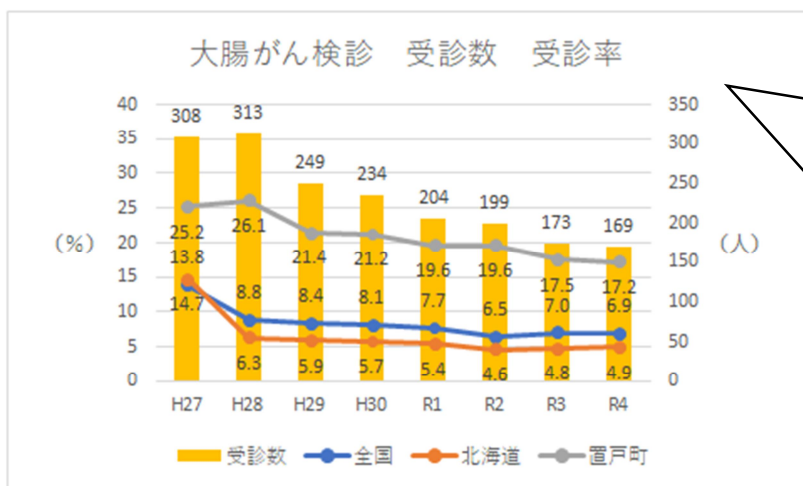
* 特定保健指導とは生活習慣病の発症リスクが高い方に、保健師・栄養士などが生活習慣の見直しをサポートします。

【がん検診】

図表 25 胃がん検診 受診数と受診率

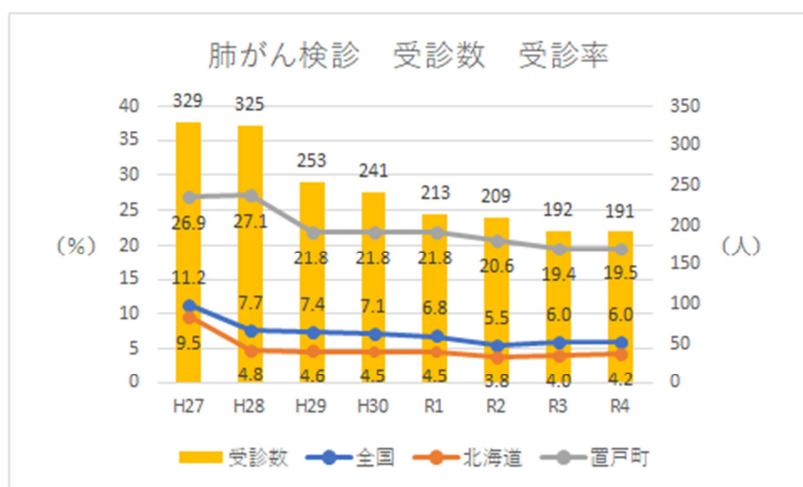


図表 26 大腸がん検診 受診数と受診率

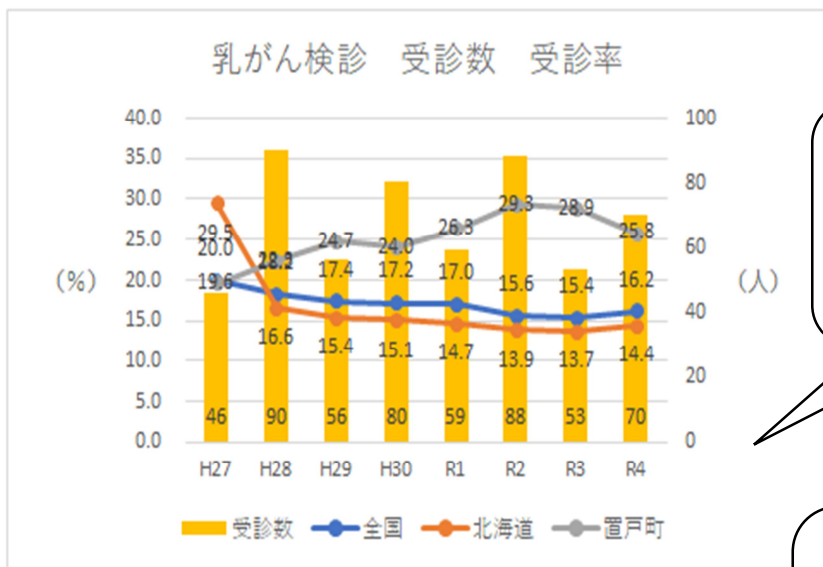


胃がん・大腸がん・肺がん検診の受診率は、全国・全道と比べて高くなっています。

図表 27 肺がん検診 受診数と受診率



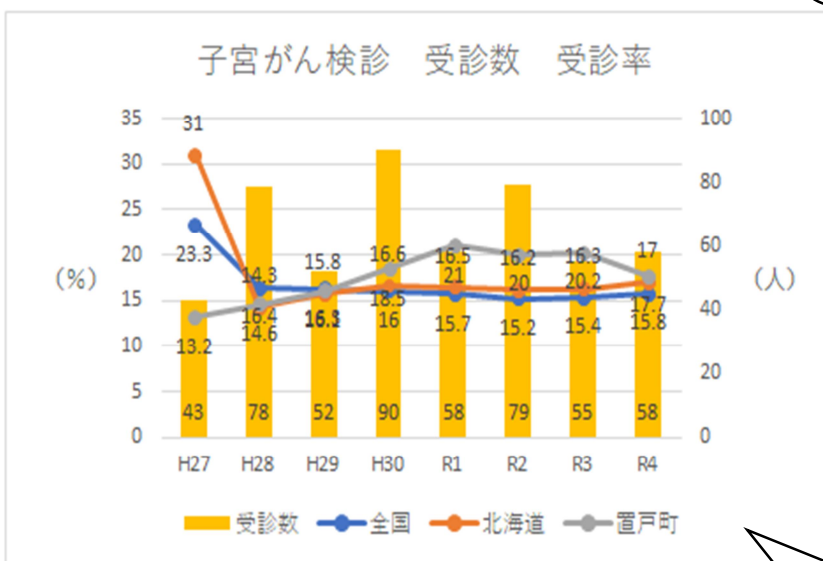
図表 28 乳がん検診 受診数と受診率



乳がん検診の受診率は、全国・全道と比べて高くなっています。

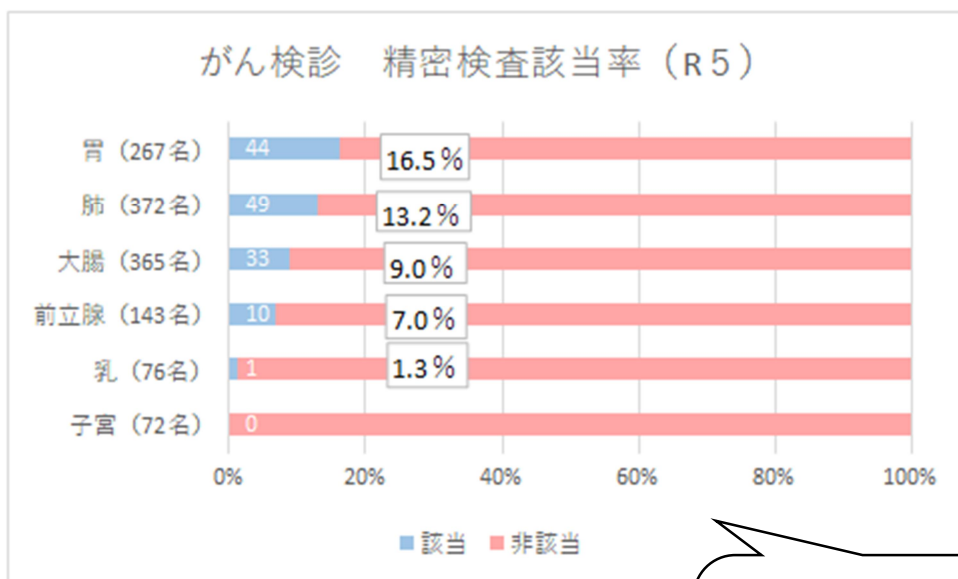
2年に1回の乳・子宮がん検診は、受診者の多い年・少ない年が交互になっています。

図表 29 子宮がん検診 受診数と受診率



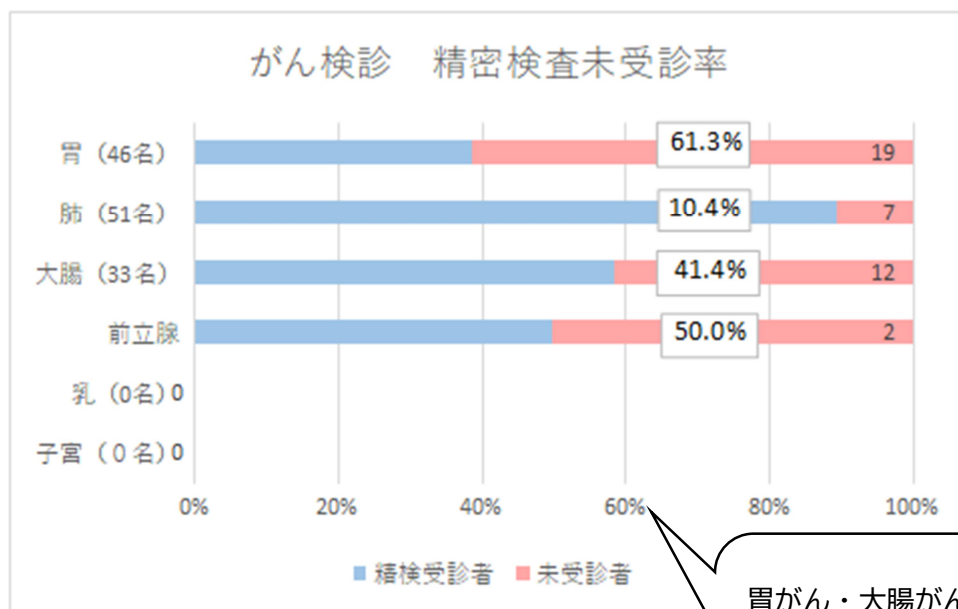
子宮がん検診の受診率は、全国・全道と同程度です。

図表 30 がん検診 精密検査該当率



胃がん、前立腺がん、肺がんの精密検査該当者の割合が高いです。

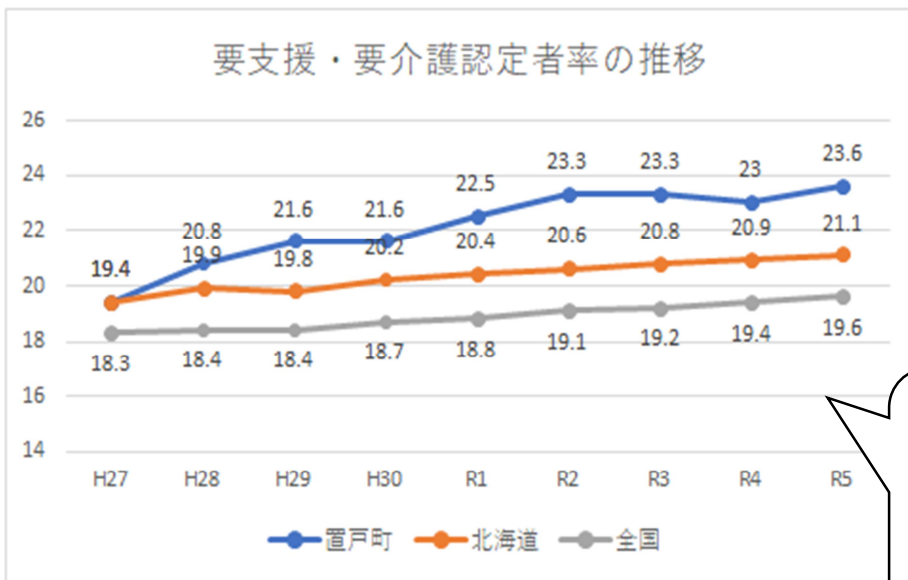
図表 31 がん検診 精密検査未受診率



胃がん・大腸がん精密検査の未受診者が多いです。

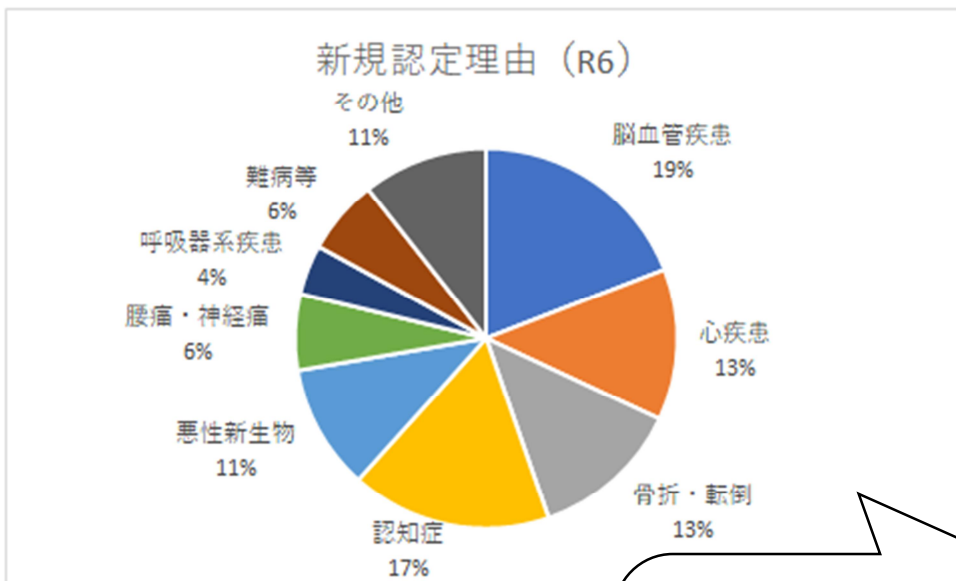
【要介護認定】

図表 32 65歳以上に占める要介護認定者率



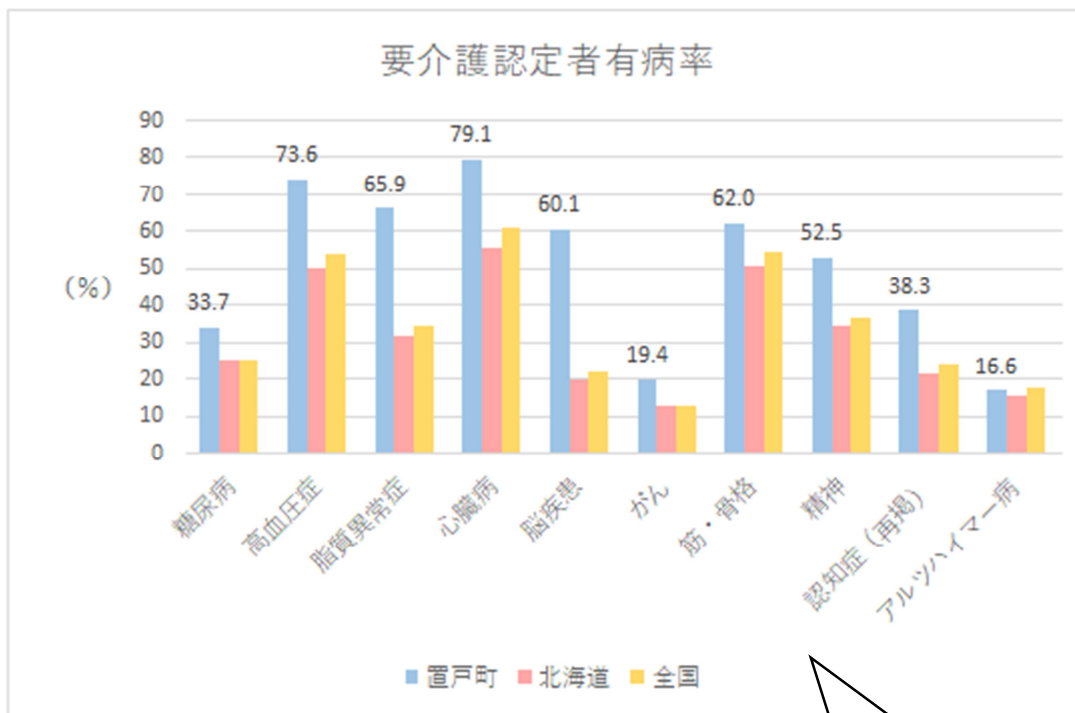
65歳以上に占める要介護認定者率は増加傾向です。

図表 33 要介護認定新規認定理由



要介護認定を受ける理由は、
 1位 脳血管疾患
 2位 認知症
 3位 骨折・転倒 / 心疾患
 となっています。

図表 34 要介護認定者有病率



全国・全道に比べて、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、心臓病、脳疾患の有病率が高くなっています。